

## 第6次鳥取市行財政改革大綱の成果について

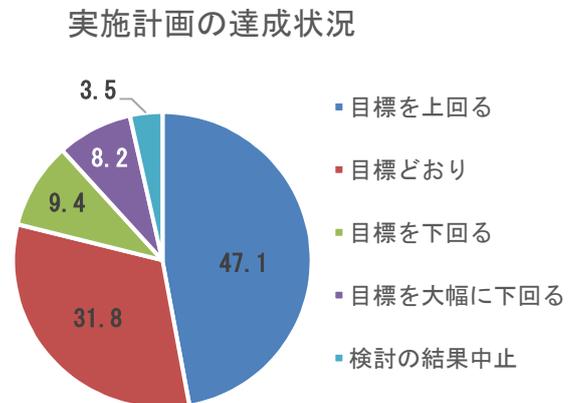
### 1. 第6次鳥取市行財政改革大綱について

- (1) 計画期間 平成27年度から令和元年度まで（5年間）  
 (2) 項目数 施策23、細施策45、実施計画85

### 2. 実施計画の達成状況

計画期間の5年間で全85計画に取り組みました。達成状況が「A：目標を上回る」および「B：概ね目標どおり」と判定されたものは67件で、全体の78.9%となりました。一方、「C：目標を下回る」および「D：目標を大幅に下回る」と判定されたものは15件で17.6%となりました。

達成状況	件数	割合
A：目標を上回る	40件	47.1%
B：概ね目標どおり	27件	31.8%
C：目標を下回る	8件	9.4%
D：目標を大幅に下回る	7件	8.2%
E：検討の結果中止	3件	3.5%
合計	85件	100.0%



### 3. 総合目標に対する実績

#### 【目標1】 税込254億円以上の実現（平成25年度：231.2億円）

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	229.4億円	231.2億円	235.2億円	237.3億円	238.7億円

#### 【目標2】 ふるさと寄附金4億円以上の実現（平成25年度：1.2億円）

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
実績	3.5億円	3.7億円	2.2億円	2.4億円	3.7億円

#### 【目標3】 15歳以上40歳未満の転出者数を転入者数の範囲に収める（平成25年：▲681人）

年度	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
実績	▲499人	▲394人	▲196人	▲624人	▲369人

※転入出者数は年単位（1月～12月）で集計したもの

## 4. 主な取り組み実績

### 柱1 協働のもと信頼される都市経営の推進

#### ●圏域をけん引する都市経営の推進

- 中核市への移行及び因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏の形成（H30年度）

→近隣自治体との連携事業数

H26年度 60事業→R元年度 90事業

- 地域連携DMO※「一般社団法人 麒麟のまち観光局」の設立（H30年度）

※DMO…地域と協同して観光地域づくりを行う法人

#### ●行政の事務・事業領域の見直し及び適切な業務分担（外部委託・民営化等の推進）

- 指定管理者制度導入施設数

H27年4月 234施設→R2年4月 253施設

- 市立保育園数

H26年度 26園→R元年度 22園（民営化1園、統廃合3園）

#### ●広聴・広報の充実（効果的な情報発信の推進）

- 鳥取市公式ウェブサイトのリニューアルにより情報発信機能を強化（R元年度）



因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏

### 柱2 将来にわたる税財源の拡充

#### ●転入超過都市への転換

- 雇用創造数 H27年度からH29年度までの3年間で4,496人

- Uターン支援登録制度による就職情報の発信

R元年度末時点の登録者数 72名

#### ●結婚・妊娠・出産・子育て対策の重点化

- すごい！鳥取市婚活支援センターの運営

H27年度からR元年度末までの成婚組数 21組、カップル成立数 411組

- 放課後児童クラブの運営

クラブ数及び利用者数 H26年度 47クラブ 1,947人→R元年度 68クラブ 2,873人

#### ●交流人口の拡大

- 外国人観光客の誘客

国際観光客サポートセンターの来客数 H26年度 5,221人→R元年度 13,035人

#### ●税・税外収入の収納率の向上及び使用料等の適正化

- 債権回収の推進

H27年度からR元年度末までの債権管理課※への債権移管件数 1,503件、回収額 129,825千円

※R2年4月から収納推進課

#### ●新たな財源の確保・充実

- ふるさと寄附金の推進（特設サイトの開設、ポイント制度導入）

H27年度からR元年度末までの寄附金受入額 15.7億円

- ビジネスマッチング支援事業の強化

H28年度からR元年度末までの取引成立件数 70件

### 柱3 身の丈に合った歳出規模の堅持

#### ●財産経営の推進

➢公共施設等総合管理計画、公共施設再配置基本計画の策定（H27年度）

→インフラ及びハコモノにかかる更新費用の平準化と抑制

➢不用品の公売の実施

H27年度からR元年度末までの売却実績 74,435千円

（PC11台、トランシーバー2台、車両9台、土地5件）

#### ●成果、優先度等に基づく事業の整理合理化

➢第2次補助金適正化方針に基づく見直しの実施

補助メニュー数及び金額 H26年度362件46.9億円→R元年度356件43.2億円

#### ●精緻な財務情報に基づく健全財政の堅持

➢交付税措置を除く市債の元利償還金及び残高の逡減

臨時財政対策債を除く公債費 H26年度96.43億円→R元年度67.64億円

#### ●経費の節減合理化

➢新電力の利用促進

H27年度からR元年度末までの新電力への契約変更施設124施設、削減額30,630千円

#### ●公営企業等の経営健全化

➢上水道事業と簡易水道事業の統合（H29年度）

### 柱4 挑戦し続けるマネジメントの確立

#### ●電子自治体の推進

➢総合窓口システムの稼働（H29年度、完全稼働R元年度）

➢電子決裁システムの導入（H30年度）

#### ●組織・機構の見直し

➢保健所設置に向け、「福祉保健部」を「福祉部」と「健康こども部」に改組（H29年度）

➢「鳥取市保健所」を健康こども部に位置付け（H30年度）

➢年々高度化、複雑化する税制度に対応するため、総務部内に「税務局」を新設（R元年度）

➢未利用財産の適正な管理や利活用等の推進を図るため、財産経営課内に「資産活用推進室」を新設（R元年度）

#### ●人的資源管理の戦略化

➢「女性職員の活躍推進委員会」の発足、キャリアアップ研修の実施（H28年度）

➢人材育成のためのメンター制度※の導入（H29年度）

※メンター制度…新規採用職員に対し、職場の先輩をメンター（助言者）として配置し指導助言を行うことで職場への早期定着を図る制度



総合窓口システムの導入による  
窓口サービスの見直し



鳥取市保健所の設置